

**5** 座標平面上を運動する点  $P(x, y)$  の時刻  $t$  における座標が

$$x = \frac{4 + 5 \cos t}{5 + 4 \cos t}, \quad y = \frac{3 \sin t}{5 + 4 \cos t}$$

であるとき、以下の間に答えよ。

- (1) 点  $P$  と原点  $O$  との距離を求めよ。  
 (2) 点  $P$  の時刻  $t$  における速度  $\vec{v} = \left( \frac{dx}{dt}, \frac{dy}{dt} \right)$  と速さ  $|\vec{v}|$  を求めよ。  
 (3) 定積分  $\int_0^\pi \frac{dt}{5 + 4 \cos t}$  を求めよ。

(21 神戸大・前期)

**5**

**数学Ⅲ**【速度と道のり】**標準**

**▶解答◀** (1)  $c = \cos t, s = \sin t$  と

おく。

$$\begin{aligned} OP^2 &= x^2 + y^2 = \frac{(4 + 5c)^2 + (3s)^2}{(5 + 4c)^2} \\ &= \frac{16 + 40c + 25c^2 + 9s^2}{(5 + 4c)^2} \\ &= \frac{25 + 40c + 16c^2}{(5 + 4c)^2} = 1 \end{aligned}$$

であるから、 $OP = 1$  である。

$$\begin{aligned} (2) \quad \frac{dx}{dt} &= \frac{-5s(5 + 4c) + 4(4 + 5c)s}{(5 + 4c)^2} \\ &= -\frac{9s}{(5 + 4c)^2} \\ \frac{dy}{dt} &= 3 \cdot \frac{c(5 + 4c) - s \cdot 4(-s)}{(5 + 4c)^2} \\ &= \frac{3(4 + 5c)}{(5 + 4c)^2} \\ \vec{v} &= \left( -\frac{9 \sin t}{(5 + 4 \cos t)^2}, \frac{3(4 + 5 \cos t)}{(5 + 4 \cos t)^2} \right) \\ &= \frac{3}{5 + 4 \cos t} \left( \frac{-3 \sin t}{5 + 4 \cos t}, \frac{4 + 5 \cos t}{5 + 4 \cos t} \right) \\ &= \frac{3}{5 + 4 \cos t} (-y, x) \\ |\vec{v}| &= \frac{3}{5 + 4 \cos t} \sqrt{(-y)^2 + x^2} = \frac{3}{5 + 4 \cos t} \end{aligned}$$

(3)  $t$  が  $0$  から  $\pi$  まで動くときの  $P$  の曲線の長さ  $L$

を考えると

$$L = \int_0^\pi |\vec{v}| dt = \int_0^\pi \frac{3}{5 + 4 \cos t} dt \dots\dots\dots \textcircled{1}$$

また、実際に  $P$  の動きを考える。  $0 \leq t \leq \pi$  において

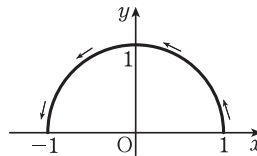
$$\frac{dx}{dt} \leq 0, \quad y \geq 0$$

$t = 0$  のとき  $(x, y) = (1, 0)$ 、 $t = \pi$  のとき

$(x, y) = (-1, 0)$  である。さらに、(1) より  $P$  は単位円上を動くから、これらをすべて合わせると、 $t$  が  $0$  から  $\pi$  まで動くとき、 $P$  は単位円上の上半分をくまなく動くことがわかる。

よって、 $L = 2\pi \cdot \frac{1}{2} = \pi$  である。①より

$$\begin{aligned} \int_0^\pi \frac{3}{5 + 4 \cos t} dt &= \pi \\ \int_0^\pi \frac{1}{5 + 4 \cos t} dt &= \frac{\pi}{3} \end{aligned}$$



**注意** 大学に行って、複素積分を習うと、留数の定理という大変美しい定理によってもっと簡単に(3)の積分を求めることができるが、それはそのときまでのお楽しみである。